

奈良市 協働のQ&A

vol.25

協働で事業を行った後は、その事業を評価することが必要です。ではその評価とは、何をどのような基準で判断すればいいのでしょうか。

協働の評価って何？

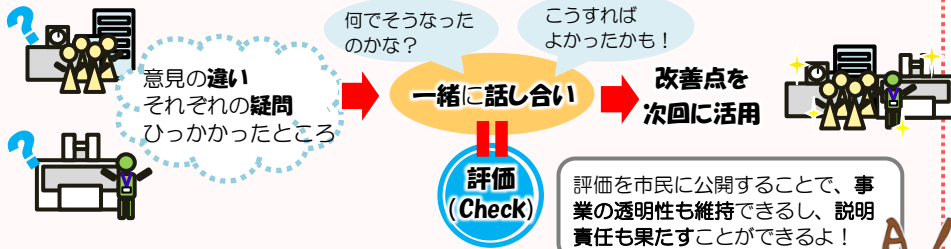
事業を終えた後に、振り返りや見直しが必要だとわかっていても、実際は結果報告だけで終わってしまうことも…。改めて、終わった後のことについて考えてみよう！



行政が単独で事業を実施するときにも評価や振り返りはすると思うけど、協働で行った事業を評価するときには、特に意識することはあるの？

協働事業の評価のポイント

協働事業は、立場や考え方が違う主体と一緒に事業を実施するから、それぞれの意見やものの見方に違いがでてくることがあるんだ。でもその違いや、浮かび上がった疑問と一緒に考えて評価することで、次に活かすことができるんだよ！



評価するときの具体的な項目は決まってないの？

奈良市では、協働の原則（奈良市協働のQ&A vol.2参照）をもとに、協働事業の内容の検証や評価、決算報告をしているよ！「事業評価シート」という1枚のシートにまとめて公表しているんだ！

評価の項目については、左のページの質問で更に詳しく見てみよう。



Q44

協働事業が終わった後、事業内容の検証や評価、決算報告は必要なの？それは誰がするの？

A44

基本的には、協働を行った担当課が、事業内容の検証や評価、決算報告を行うけど、担当課だけでそれらの書類等を作成するのではなく、PDCAに沿って協働の相手と一緒にお互いの視点で確認しつつ検証して作成することが大事だよ！

「事業評価シート」には、「協働相手からの意見」という項目もあるので、協働相手の意見も反映させよう！

事業評価シート

No.	53	事業名	アダプトプログラム推進事業「さわやかグリーン奈良」
部名	市民活動部	課名	市民活動課
総合計画上の位置付け	第1次計画 第4期 第2次計画 第1期	実施年度	2018年度
実施期間	2018.4.1 - 2018.9.30	実施場所	奈良市全域
協働の相手	市民活動課	協働の相手	市民活動課
事業の目的	市民活動課	事業の目的	市民活動課
事業の特性	市民活動課	事業の特性	市民活動課
事業費 (単位:千円)	1,053	H23年度	1,053
事業概要	市民の方々による身近な道路、河川等の公共施設の美化活動を通して地域コミュニティの再生を図る。		
全体計画	自治会・ボランティア団体・事業者等から美化ボランティアを募り、各団体は活動人数、活動内容、活動地域などを決めて参加申込書を提出する。市はその内容を審査し、適当と認められた場合は団体ごとの参加費を補助し、その美化活動を支援する。		
達成目標	目標値	単位	年度
達成の手段	事業を周知するためのホームページの充実、アダプトどりの配布等により、継続的に増加を図る。		
平成24年度の取組内容	P:計画	D:実行	C:評価
協働の評価	協働の原則に基づいて評価項目		
協働による得られた効果	市民活動課		
協働相手からの意見など	市民活動課		

「協働」の評価項目

担当課と協働相手がA~Eの5段階で評価しているよ。

- 互いに**対等**の関係を保つことができたか。
- 互いの立場や特性を相互に理解し尊重したうえで、**それぞれの役割を明確**にすることができたか。
- 協働相手の**長所を活かし**、協働相手の**自主性を尊重**することができたか。
- 依存や癒着の関係に陥ることのないよう、**協働相手の自立化を進め**られたか。
- 協働相手と**目的を共有**することができたか。
- 互いの特性を踏まえつつ、**互いに補い合いながら役割分担**することができたか。
- 協働事業のプロセスや結果等の**情報を公開**し、市民に対する**説明責任を果たす**ことができたか。
- 協働を通して「**共に学び**」「**共に育ち**」「**共に変わる**」という姿勢や意識を持つことができたか。
- 馴れ合いを防ぐため**達成目標や事業期間など協働関係を解消する条件**を決め、緊張感を保つことができたか。

「協働相手からの意見等

協働相手からの意見を記入しよう！

実施した後の振り返りや改善まで、協働で一緒に行うことが大事なんだね！立場が変われば、違う反省点や改善点が見えてくるかも…。

NEXT!

Q45 協働を継続するモチベーションを維持する秘訣は？

…協働を続けていくモチベーションってなんだろう…？